

第Ⅱ編 緑視率調査

1. 調査の概要

1-1. 調査の位置付け

緑視率調査（以下、「本調査」という。）は、本市の緑の現況調査の一つとして、街を歩く人が目にする緑の現況を調査するため、平成 27(2015)年度から実施しているものであり、令和 2(2020)年度は 2 回目の実施となる。

1-2. 「緑視率」の定義

本調査で取り扱う「緑視率」は、デジタルコンパクトカメラで撮影した画像の総画素数に占める緑（植物体）部分の緑視画素数の割合と定義する。

1-3. 対象とする緑

本調査で対象とする緑は、高木・低木・芝・草・花などの表Ⅱ-1 に示す植物とし、表Ⅱ-2 に示すものは対象外とした。

表Ⅱ-1：本調査で対象とする緑の定義

調査対象の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・高木・低木・芝・草・花などの植物 (葉、花、実、枝、幹、根等)
--------	--

表Ⅱ-2：本調査で対象外とする緑

調査対象外の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死している植物（枯枝・枯葉・枯草等） ・切株 ・支柱や鳥居等の木製構造物 ・荒縄やこも巻き等の植物性素材 ・造花・フェイクグリーン ・土 ・ガラス越しに見える緑 ・ガラス面・鏡面等に反射した緑 ・水面
---------	--

2. 調査の実施方法

2-1. 調査の実施時期

本調査に係る画像の撮影は、以下の時期に実施した。

表Ⅱ-3：画像撮影の実施時期

実施日	令和2(2020)年8月4日(火)～6日(木)
時間帯	おおむね7:00～18:00

2-2. 調査対象地

(1) 調査対象地

本調査は、以下に示す歩道、交差点、ターミナルの計72箇所にて実施した。なお、各調査対象箇所における撮影地点・撮影方向は、平成27(2015)年度調査と同一とした。

表Ⅱ-4：調査対象施設と箇所数

No.	対象施設	箇所数
①	歩道	5路線 54箇所
②	交差点	13箇所
③	ターミナル駅	5箇所
	合計	72箇所

(2) 調査対象施設

① 歩道(RT) (5路線 54箇所)

歩道の対象路線は、以下の5路線であり、計54箇所を実施した。

表Ⅱ-5：調査対象路線・箇所 歩道(RT)

略号	施設名	区間	箇所数	該当区
RT02	広小路通	東新町交差点～笹島交差点	12	中区・中村区
RT03	桜通	桜通久屋東・桜通久屋西交差点～名古屋駅交差点	12	中区・中村区
RT04	名駅通・若宮大通	若宮大通久屋交差点～名古屋駅交差点	14	中区・中村区
RT05	久屋大通	久屋橋・久屋橋西交差点～若宮大通久屋交差点	8	中区
RT06	大津通	桜通大津交差点～矢場町交差点	8	中区
	合計		54	

注1)「略号」は、平成27(2015)年度調査と整合。

② 交差点(IS) (13箇所)

交差点の調査対象箇所は、以下の13箇所を実施した。

表Ⅱ-6：調査対象箇所 交差点(IS)

略号	施設名	箇所数	該当区	略号	施設名	箇所数	該当区
IS02	名古屋駅	1	中村区	IS09	栄	1	中区
IS03	桜通大津	1	中区	IS10	広小路久屋東・広小路久屋西	1	中区
IS04	久屋橋・久世橋西	1	東区・中区	IS11	東新町	1	中区
IS05	桜通久屋東・桜通久屋西	1	東区・中区	IS12	下広井町	1	中村区
IS06	笹島	1	中村区	IS13	矢場町	1	中区
IS07	納屋橋東・納屋橋西	1	中区・中村区	IS14	若宮大通久屋	1	中区
IS08	広小路伏見	1	中区				
					合計	13	

注1)「略号」は、平成27(2015)年度調査と整合。

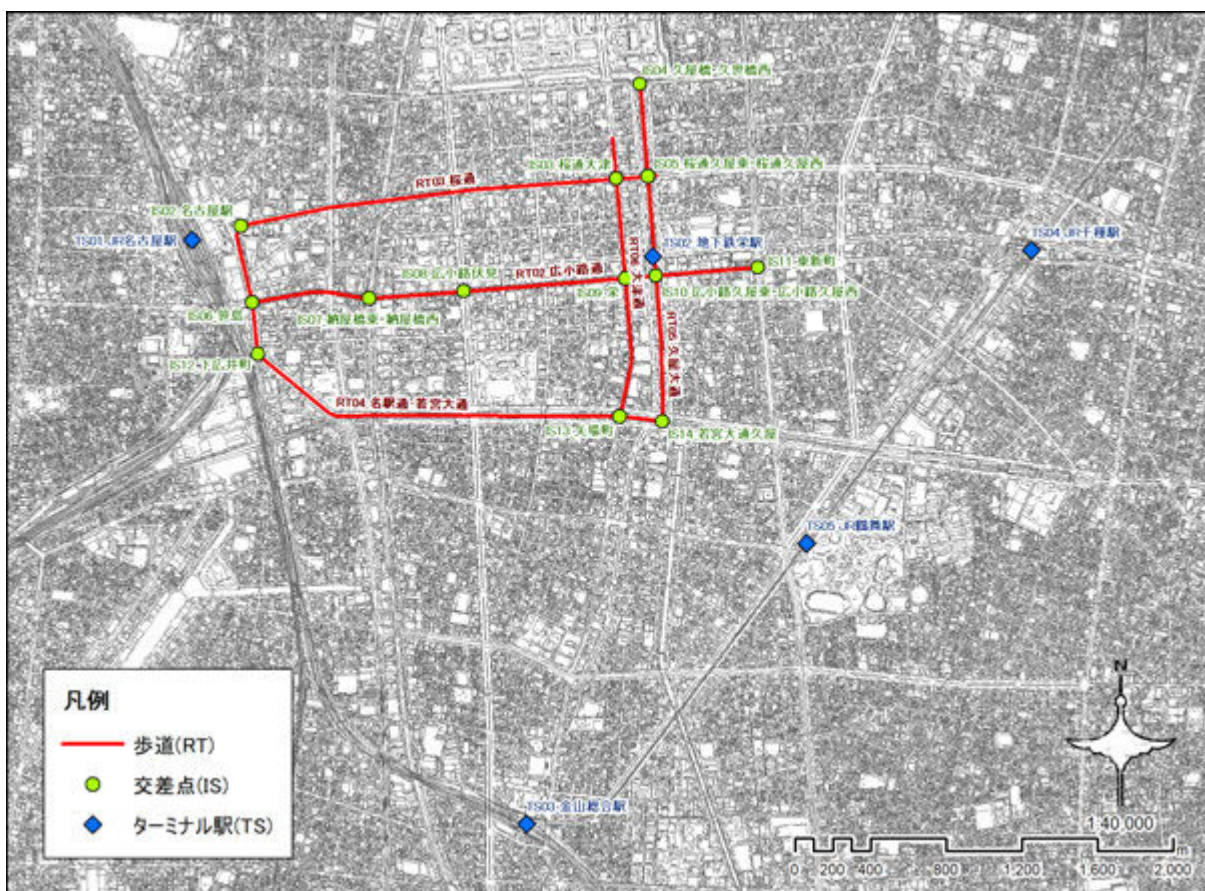
③ ターミナル駅(TS) (5箇所)

ターミナル駅の調査対象箇所は、以下の5箇所を実施した。

表II-7：調査対象箇所 ターミナル駅(TS)

略号	施設名	箇所数	該当区
TS01	JR名古屋駅(桜通口)	1	中村区
TS02	地下鉄栄駅(16番出入口)	1	中区
TS03	金山総合駅(南口)	1	熱田区・中区
TS04	JR千種駅	1	千種区
TS05	JR鶴舞駅(公園口(北西側))	1	中区
合計		5	

注1)「略号」は、平成27(2015)年度調査と整合。



図II-1：緑視率調査 調査対象施設位置図

2-3. 調査方法

2-3-1. 調査の実施フロー

本調査は、平成 27(2015)年度に実施した緑視率調査の継続調査として、基本的に平成 27(2015)年度調査と同一地点、同一画角にて写真撮影を行い、同一の方法により緑視画像を作成の上、緑視率を計測したものである。

なお、調査対象施設ごとの緑視率の評価は、それぞれ複数地点・方向で撮影し、集計した「平均緑視率」をもって評価した。

図 II-2 に本調査の実施フローを示す。

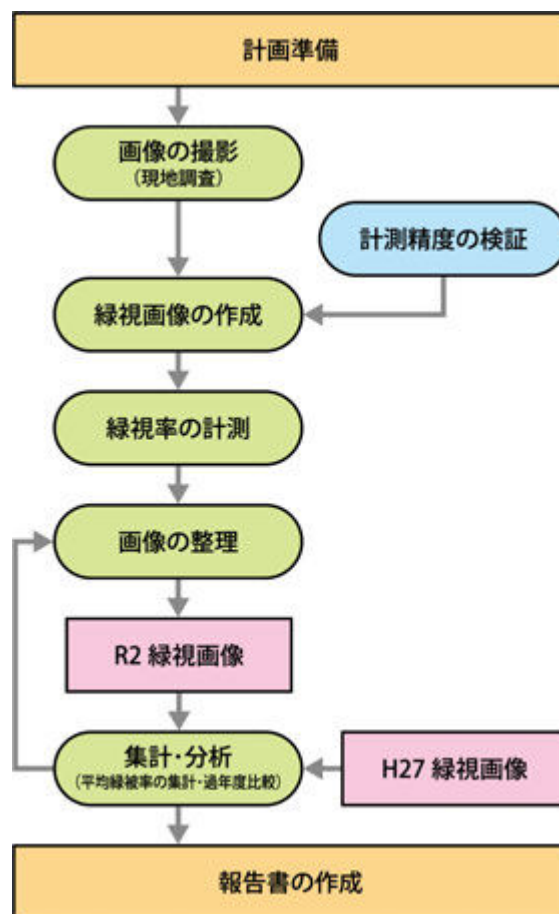


図 II-2 : 緑視率調査の実施フロー

2-3-2. 画像の撮影方法

(1) 使用機材と設定

写真撮影に当たっては、焦点距離 24 mm (35 mmフィルム換算) 相当で撮影可能なコンパクトデジタルカメラを使用した。本調査で使用した機材は表 II-8 のとおりである。また、撮影時のデジカメの設定は表 II-9 のとおりとした。

表 II-8 : 使用機材一覧

品目	メーカー	型番	数量	単位
カメラ	Panasonic	DMC-LX5	1	台
三脚	Velbon	UT-43Q	1	台
水準器	—	—	1	台
マーカーコーン	—	(φ200)	1	個

表 II-9 : デジカメ撮影時の設定

項目	内容	項目	内容
焦点距離(35 mm換算)	24 mm	記録フォーマット	JPEG
画素数	500 万画素程度※1	ストロボ	なし
アスペクト比	4:3		

※1) 画素数について、計測作業上、なるべく高解像度で撮影した方が望ましいが、データ容量との兼ね合いで、本調査においては、500 万画素程度とした。

注1) その他のデジカメ設定 (F 値、シャッタースピード、ISO 感度等) は、Auto とした。

(2) 撮影方法

画像の撮影に当たっては、全ての撮影地点において、水準器を使用して水平を取った三脚を使用し、地上 1.5m の高さにカメラのレンズ中央が位置するように固定して写真撮影を行った (図 II-3 参照)。なお、各調査対象施設における撮影方向は、平成 27 (2015) 年度調査と同様に表 II-10 のとおりとした。

表 II-10 : 各調査対象施設における撮影位置・撮影方向

調査対象施設	撮影位置・撮影方向	備考
歩道 (RT)	交差点の横断歩道前を基点とした 3 方向	図 II-4 参照
交差点 (IS)	交差点の四隅から対角線上に 4 方向	図 II-5 参照
ターミナル駅 (TS)	駅舎出口の軒下 (庇の直下) から 3 方向	図 II-6 参照

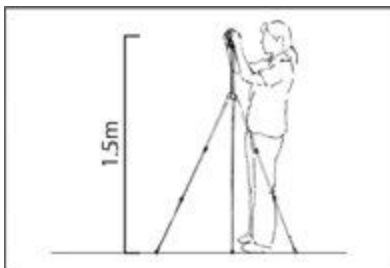


図 II-3 : 撮影方法

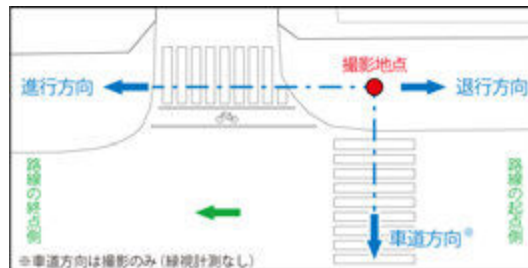


図 II-4 : 歩道 (RT) の撮影地点と撮影方向



図 II-5 : 交差点 (IS) の撮影地点と撮影方向

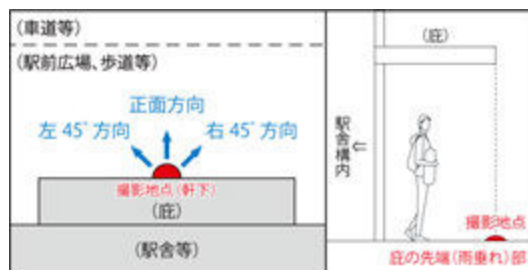


図 II-6 : ターミナル駅 (TS) の撮影地点と撮影方向

(3) ファイル名定義

撮影画像及び緑視画像のファイル名の命名規則は、平成 27(2015)年度調査を踏襲し、次のとおりとした。

表 II-11：ファイル名の命名規則



① 対象施設の種別を表すアルファベット (半角英字 (2 字))

表 II-12：対象施設の種別 (表 II-11 の①)

歩道	RT (<u>R</u> o <u>t</u> e)
交差点	IS (<u>I</u> n <u>t</u> e <u>r</u> s <u>e</u> c <u>t</u> i <u>o</u> n)
ターミナル駅	TS (<u>T</u> e <u>r</u> m <u>i</u> n <u>a</u> l <u>S</u> t <u>a</u> t <u>i</u> o <u>n</u>)

② 対象施設の固有 ID (半角数字 (2 字))

表 II-13：対象施設の固有 ID (表 II-11 の②)

ID	歩道 (RT)	交差点 (IS)	ターミナル駅 (TS)
01	(欠番)	(欠番)	JR 名古屋駅(桜通口)
02	広小路通	名古屋駅	地下鉄栄駅(16 番出入口)
03	桜通	桜通大津	金山総合駅(南口)
04	名駅通・若宮大通	久屋橋・久屋橋西	JR 千種駅
05	久屋大通	桜通久屋東・桜通久屋西	JR 鶴舞駅(公園口(北西側))
06	大津通	笹島	—
07	(欠番)	納屋橋東・納屋橋西	—
08	(欠番)	広小路伏見	—
09	(欠番)	栄	—
10	(欠番)	広小路久屋東・広小路久屋西	—
11	(欠番)	東新町	—
12	(欠番)	下広井町	—
13	(欠番)	矢場町	—
14	(欠番)	若宮大通久屋	—
15	(欠番)	(欠番)	—

※ 平成 27(2015)年度調査では実施していたが、令和 2(2020)年度調査では実施しなかった地点は欠番としている。

③ 撮影地点番号（半角数字(2字)）

表Ⅱ-14：撮影地点番号（表Ⅱ-11の③）

歩道	01～26(最大)：路線の等分点の最近接交差点における横断歩道の手前（路線の起点から右側通行で進み、終点で折り返して起点に戻る）
交差点	01：北東側、02：南東側、03：南西側、04：北西側
ターミナル駅	01：駅舎出入口の中央部の庇の先端(雨垂れ)部

※ 平成 27(2015)年度調査では実施していたが、令和 2(2020)年度調査では実施しなかった地点は欠番としている。

④ 撮影方向番号（半角数字(2字)）

表Ⅱ-15：撮影方向番号（表Ⅱ-11の④）

歩道	01：進行方向、02：車道方向、03：退行方向、91：全景写真(縦)、92：詳細写真(縦)
交差点	01：交差点中央部方向、91：全景写真(横)、92：詳細写真(横)
ターミナル駅	01：左方向、02：前方向、03：右方向、91：全景写真(縦)、92：詳細写真(縦)、95：周辺状況(縦)

⑤ 緑視率計測画像に付記

緑視率を計測した画像については、ファイル名の末尾に「_GVR」を付記した。

2-4. 集計・分析方法

2-4-1. 緑視画像の作成に当たっての留意点

緑視画像の作成に当たっては、本調査で対象とする緑の定義（表II-16参照）を踏まえ、以下の点に留意して作成した。（表II-18及び図II-7参照）

表II-16：本調査で対象とする緑の定義【表II-1(p.98)再掲】

調査対象の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高木・低木・芝・草・花などの植物 (葉、花、実、枝、幹、根等)
--------	---

表II-17：本調査で対象外とする緑【表II-2(p.98)再掲】

調査対象外の緑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 枯死している植物（枯枝・枯葉・枯草等） ・ 切株 ・ 支柱や鳥居等の木製構造物 ・ 荒縄やこも巻き等の植物性素材 ・ 造花・フェイクグリーン ・ 土 ・ ガラス越しに見える緑 ・ ガラス面・鏡面等に反射した緑 ・ 水面
---------	---

表II-18：緑視画像の作成に当たっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ 葉の隙間など空隙があっても、ある程度まとまった緑として抽出する。 Ⓑ 人、自動車、オートバイ、自転車等の一時的に緑視を遮る移動体や、こも巻き、支柱等の植物に付随する構造物等があったとしても、確実にそこに緑があると想定される箇所は緑として抽出する。（ただし、確証が得られない場合は、非対象とする） Ⓒ フェンス越しの緑は可能な限り緑として抽出する。（フェンスは除く） Ⓓ 完全に裸地の箇所は、非対象とする。



図II-7：緑視画像の作成に当たっての留意点

2-4-2. 緑視画像の作成及び緑視率の算定方法

Adobe Photoshop を用いた緑視画像の作成及び緑視率の算定に当たっては、以下の流れに沿って実施した。

(1) 画像の読み込み

- ・ Adobe Photoshop を起動し、[ファイル] > [開く] から、撮影画像を読み込む。

(2) レイヤー作成

- ・ [レイヤー] > [新規] > [レイヤー] から、「緑」レイヤーを作成する。
- ・ [レイヤーパレット] において、上記の緑レイヤーの不透明度を 70% とする。

(3) 緑の描画

- ・ [カラーパレット] において、描画色を「R : 0、G : 100、B : 0」とする。
- ・ 各種選択ツールを使用し、緑部分を選択する。(緑の定義については、表 II-1 (p. 98) を参照)
- ・ [レイヤーパレット] において、緑レイヤーを選択の上、塗りつぶしツールを使用して選択範囲内を塗り潰す。

(4) 画素数の計測 (緑及び画像全体)

- ・ [レイヤーパレット] において、緑レイヤー以外を非表示として緑レイヤーを選択の上、塗り潰した緑全体を選択する。
- ・ [ヒストグラムパレット] において、「キャッシュを使用しないで更新」(☑) を行い、「全ピクセル」の数値を確認し、緑視画素数として記録する。
- ・ [レイヤーパレット] において、背景レイヤー以外を非表示として背景レイヤーを選択の上、画像全体を選択する。
- ・ [ヒストグラムパレット] において、「キャッシュを使用しないで更新」(☑) を行い、「全ピクセル」の数値を確認し、総画素数として記録する。

(5) 画像ファイルの保存

- ・ [レイヤーパレット] において緑レイヤーと背景レイヤーを表示させた状態で、[ファイル] > [保存] から、画像を Photoshop 形式 (.psd) で保存する。
- ・ [ファイル] > [別名で保存] から、画像を JPEG 形式 (.jpg) で保存する。
※ ファイル名は p. 103 の命名規則に従い、撮影画像のファイル名の末尾に「_GVR」を付記。

(6) 緑視率の算出

- ・ 緑視率は、(3) で計測した緑視画素数 / 画像全体の総画素数をもって算定する。(緑視率は小数第 3 位を切り捨てた小数第 2 位止めとする。)
- ・ 各施設の平均緑視率は、(3) で計測した緑視画素数の合計値 / 画像全体の総画素数の合計値をもって算定する。(平均緑視率も小数第 3 位を切り捨てた小数第 2 位止めとする。)

3. 緑視率の現況及び過年度比較

3-1. 全体の平均緑視率

対象施設ごとに、平成27(2015)年と令和2(2020)年の結果を表II-19のとおり比較した。

全体的な平均緑視率としては、令和2(2020)年が21.31%であったのに対し、平成27(2015)年は21.63%で、その差は0.32ポイント減であり、大きな差はなかったと考えられる。

ただし、対象施設ごとに見ると、歩道は0.34ポイント増加、交差点は3.26ポイント減少、ターミナル駅は0.17ポイント減少であった。

その中でも、特に大きく緑視率が変化したのは、交差点の広小路伏見(IS08)で、緑視率は37.96ポイント減少した(表II-31(1/2, 2/2)(p. 120, 121)参照)。次いで、交差点の桜通久屋東・桜通久屋西(IS05)が13.25ポイント減少(表II-31(1/2)(p. 120)参照)、交差点の桜通大津(IS03)が9.24ポイント減少(表II-31(1/2)(p. 120)参照)、ターミナル駅のJR鶴舞駅(TS05)が6.72ポイント減少(表II-33(p. 123)参照)であった。

一方、増加したのは、交差点の若宮大通久屋(IS14)で5.87ポイント増加(表II-31(2/2)(p. 121)参照)、次いで、交差点の広小路久屋東・広小路久屋西(IS10)で4.78ポイント増加(表II-31(2/2)(p. 121)参照)であった。

次項以降に、これらの変化の詳細について、対象施設ごとに分析した。

表II-19：対象施設の平均緑視率に係る過年度調査との比較

対象施設	ID1	施設名	平成27(2015)年			令和2(2020)年			平均緑視率の増減(%) (R02-H27)
			緑視画素数 合計	総画素数 合計	平均 緑視率(%)	緑視画素数 合計	総画素数 合計	平均 緑視率(%)	
歩道	RT02	広小路通	22,533,371	142,737,408	15.78	17,645,682	117,964,800	14.95	▲0.83
	RT03	桜通	21,455,145	140,673,024	15.25	16,879,739	117,964,800	14.30	▲0.95
	RT04	名駅通・若宮大通	34,339,820	166,526,976	20.62	31,186,827	137,625,600	22.66	2.04
	RT05	久屋大通	26,701,919	95,158,272	28.06	21,277,138	78,643,200	27.05	▲1.01
	RT06	大津通	12,023,288	95,158,272	12.63	11,873,991	78,643,200	15.09	2.46
	小計			117,053,543	640,253,952	18.28	98,863,377	530,841,600	18.62
交差点	IS02	名古屋駅	6,049,661	19,660,800	30.77	4,912,192	19,660,800	24.98	▲5.79
	IS03	桜通大津	13,179,062	19,660,800	67.03	11,363,509	19,660,800	57.79	▲9.24
	IS04	久屋橋・久屋橋西	4,491,484	19,660,800	22.84	4,689,029	19,660,800	23.84	1.00
	IS05	桜通久屋東・桜通久屋西 ^{※1}	3,625,009	14,745,600	24.58	1,671,713	14,745,600	11.33	▲13.25
	IS06	笹島	3,981,621	19,660,800	20.25	4,255,022	19,660,800	21.64	1.39
	IS07	納屋橋東・納屋橋西	1,511,742	19,660,800	7.68	1,472,566	19,660,800	7.48	▲0.20
	IS08	広小路伏見	8,567,461	19,660,800	43.57	1,103,969	19,660,800	5.61	▲37.96
	IS09	栄	4,384,908	19,660,800	22.30	4,925,963	19,660,800	25.05	2.75
	IS10	広小路久屋東・広小路久屋西	5,099,157	19,660,800	25.93	6,038,288	19,660,800	30.71	4.78
	IS11	東新町	9,700,058	19,660,800	49.33	10,550,652	19,660,800	53.66	4.33
	IS12	下広井町	2,057,660	19,660,800	10.46	1,867,868	19,660,800	9.50	▲0.96
	IS13	矢場町	3,500,650	19,660,800	17.80	3,979,044	19,660,800	20.23	2.43
	IS14	若宮大通久屋	7,353,515	19,660,800	37.40	8,508,779	19,660,800	43.27	5.87
	小計			73,501,988	250,675,200	29.32	65,338,594	250,675,200	26.06
ターミナル駅	TS01	JR名古屋駅(桜通口)	691,542	14,745,600	4.68	681,203	14,745,600	4.61	▲0.07
	TS02	地下鉄栄駅(16番出入口)	3,546,491	14,745,600	24.05	3,803,770	14,745,600	25.79	1.74
	TS03	金山総合駅(南口)	632,849	14,745,600	4.29	799,863	14,745,600	5.42	1.13
	TS04	JR千種駅	9,077,877	14,745,600	61.56	9,530,512	14,745,600	64.63	3.07
	TS05	JR鶴舞駅(公園口(北西側))	4,243,097	14,745,600	28.77	3,252,050	14,745,600	22.05	▲6.72
	小計			18,191,856	73,728,000	24.67	18,067,398	73,728,000	24.50
合計			208,747,387	964,657,152	21.63	182,269,369	855,244,800	21.31	▲0.32

注1) 平成27(2015)年度調査では実施していたが、令和2(2020)年度調査では実施しなかった地点は欠番として、両調査の調査地点が整合するように集計している。

※1) IS050201については、令和2(2020)年度調査で「(仮称)東桜1-1再開発計画」に係る工事の仮囲いにより同一場所での撮影ができなかったため、除外して集計している。

3-2. 箇所別の平均緑視率比較

(1) 歩道(RT)

① 広小路通(RT02)

広小路通の令和2(2020)年の平均緑視率は14.95%であり、平成27(2015)年から0.83ポイント減少した。

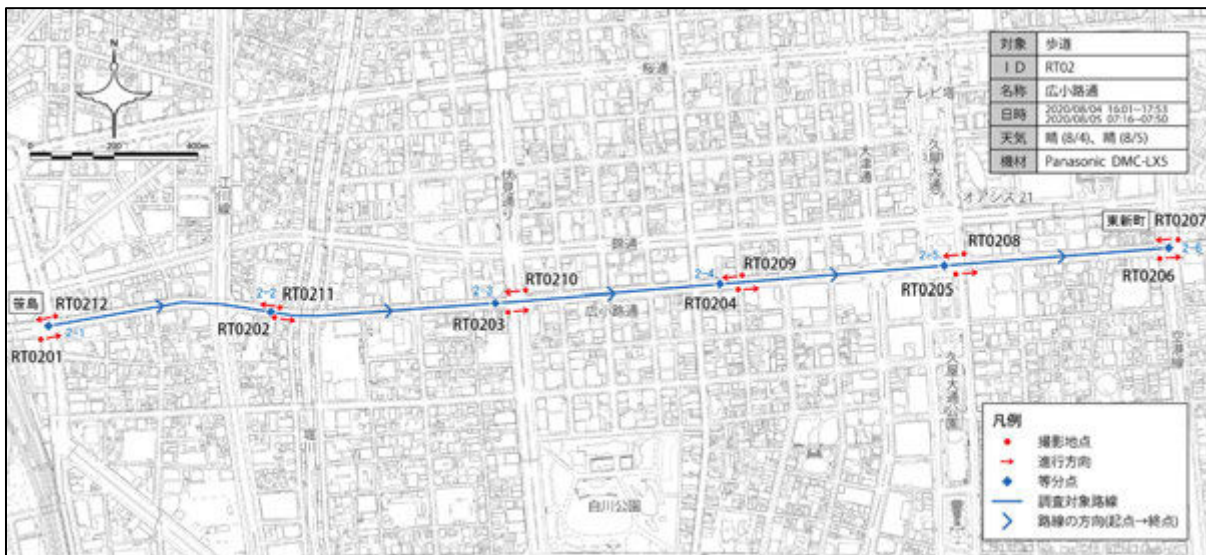
特に大きく変化したのは、RT021003で、22.57ポイント減少した。次いで、RT020303が14.37ポイント減少した。これらは交差点整備により、一時的に植栽帯が撤去されたことに起因した。

一方、RT020903、RT020201は5~7ポイント程度増加しており、これらは民間施設の緑化が進められたことや、街路樹の生長によるものと考えられる。また、RT021203のように、街路樹と民有地の緑化で良好な景観形成が図られている事例もあった。

表Ⅱ-20：緑視率の変化（広小路通(RT02)）




調査年	平成27(2015)年			令和2(2020)年			緑視率増減 (R2-H27) (%)
	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率(%)	緑視画素数	総画素数	
RT020101	425,419	5,947,392	7.15	396,350	4,915,200	8.06	0.91
RT020103	641,243	5,947,392	10.78	523,595	4,915,200	10.65	▲0.13
RT020201	943,537	5,947,392	15.86	1,066,301	4,915,200	21.69	5.83
RT020203	1,009,763	5,947,392	16.97	688,322	4,915,200	14.00	▲2.97
RT020301	255,643	5,947,392	4.29	221,171	4,915,200	4.49	0.20
RT020303	1,501,640	5,947,392	25.24	534,754	4,915,200	10.87	▲14.37
RT020401	852,599	5,947,392	14.33	748,367	4,915,200	15.22	0.89
RT020403	917,774	5,947,392	15.43	788,653	4,915,200	16.04	0.61
RT020501	218,168	5,947,392	3.66	184,550	4,915,200	3.75	0.09
RT020503	545,034	5,947,392	9.16	440,823	4,915,200	8.96	▲0.20
RT020601	288,489	5,947,392	4.85	235,300	4,915,200	4.78	▲0.07
RT020603	2,028,199	5,947,392	34.10	1,662,880	4,915,200	33.83	▲0.27
RT020701	352,941	5,947,392	5.93	384,390	4,915,200	7.82	1.89
RT020703	2,146,391	5,947,392	36.08	1,814,894	4,915,200	36.92	0.84
RT020801	1,498,363	5,947,392	25.19	1,361,237	4,915,200	27.69	2.50
RT020803	1,163,357	5,947,392	19.56	1,024,371	4,915,200	20.84	1.28
RT020901	661,379	5,947,392	11.12	670,341	4,915,200	13.63	2.51
RT020903	824,106	5,947,392	13.85	1,029,537	4,915,200	20.94	7.09
RT021001	336,291	5,947,392	5.65	144,554	4,915,200	2.94	▲2.71
RT021003	2,011,713	5,947,392	33.82	553,089	4,915,200	11.25	▲22.57
RT021101	1,316,295	5,947,392	22.13	847,676	4,915,200	17.24	▲4.89
RT021103	792,324	5,947,392	13.32	745,757	4,915,200	15.17	1.85
RT021201	500,494	5,947,392	8.41	475,334	4,915,200	9.67	1.26
RT021203	1,302,209	5,947,392	21.89	1,103,436	4,915,200	22.44	0.55
合計/ 平均緑視率	22,533,371	142,737,408	15.78	17,645,682	117,964,800	14.95	▲0.83

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したものの。



図Ⅱ-8：調査位置図（広小路通(RT02)）

表II-21：緑視率過年度調査比較票（広小路通(RT02), 抜粋）

ID	平成 27(2015)年 (撮影日：9/16, 19)		令和 2(2020)年 (撮影日：8/4, 5)		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
RT020201 (進行方向)		15.86%		21.69%	5.83 割
RT020303 (退行方向)		25.24%		10.87%	▲14.37 割
RT020903 (退行方向)		13.85%		20.94%	7.09 割
RT021003 (退行方向)		33.82%		11.25%	▲22.57 割
RT021203 (退行方向)		21.89%		22.44%	0.55 割

② 桜通(RT03)

桜通の令和2(2020)年の平均緑視率は14.30%であり、平成27(2015)年から0.95ポイント減少した。

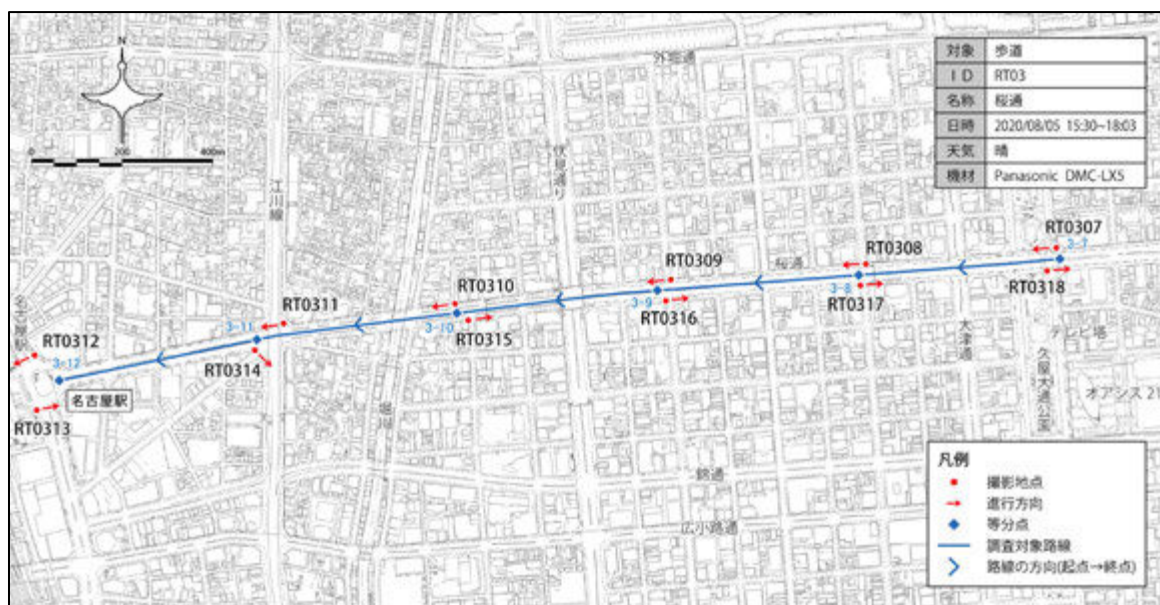
本歩道では、街路樹の剪定により緑視率が減少した事例が散見され、RT031003では7.64ポイント減少、RT031203では8.76ポイント減少、RT031501では11.61ポイント減少、RT031503では7.67ポイント減少していた。

一方、RT030801では4.05ポイント増加しており、これは街路樹の生長によるものと考えられた。

表Ⅱ-22：緑視率の変化（桜通(RT03)）

調査年 ID	平成27(2015)年			令和2(2020)年			緑視率増減 (R2-H27) (ポイント)
	緑視画素数	総画素数	緑視率(%)	緑視画素数	総画素数	緑視率(%)	
RT030701	1,214,716	5,947,392	20.42	1,084,656	4,915,200	22.06	1.64
RT030703	685,873	5,947,392	11.53	582,174	4,915,200	11.84	0.31
RT030801	381,216	5,947,392	6.40	513,782	4,915,200	10.45	4.05
RT030803	224,450	5,947,392	3.77	203,200	4,915,200	4.13	0.36
RT030901	316,968	5,947,392	5.32	316,555	4,915,200	6.44	1.12
RT030903	1,920,310	5,947,392	32.28	1,685,306	4,915,200	34.28	2.00
RT031001	936,496	5,947,392	15.74	503,759	4,915,200	10.24	▲5.50
RT031003	2,048,435	5,947,392	34.44	1,317,695	4,915,200	26.80	▲7.64
RT031101	260,369	5,947,392	4.37	186,813	4,915,200	3.80	▲0.57
RT031103	2,355,182	5,947,392	39.60	1,968,466	4,915,200	40.04	0.44
RT031201	199,806	5,947,392	3.35	286,857	4,915,200	5.83	2.48
RT031203	1,406,851	5,947,392	23.65	732,062	4,915,200	14.89	▲8.76
RT031301	313,742	5,947,392	5.27	317,858	4,915,200	6.46	1.19
RT031303	0	5,947,392	0.00	0	4,915,200	0.00	0.00
RT031401	450,162	4,915,200	9.15	493,697	4,915,200	10.04	0.89
RT031403	1,229,137	4,915,200	25.00	1,220,898	4,915,200	24.83	▲0.17
RT031501	1,475,432	5,947,392	24.80	648,773	4,915,200	13.19	▲11.61
RT031503	1,877,070	5,947,392	31.56	1,174,394	4,915,200	23.89	▲7.67
RT031601	327,430	5,947,392	5.50	323,939	4,915,200	6.59	1.09
RT031603	1,653,261	5,947,392	27.79	1,545,965	4,915,200	31.45	3.66
RT031701	341,189	5,947,392	5.73	269,988	4,915,200	5.49	▲0.24
RT031703	443,000	5,947,392	7.44	449,230	4,915,200	9.13	1.69
RT031801	408,159	5,947,392	6.86	264,382	4,915,200	5.37	▲1.49
RT031803	985,891	5,947,392	16.57	789,290	4,915,200	16.05	▲0.52
合計/ 平均緑視率	21,455,145	140,673,024	15.25	16,879,739	117,964,800	14.30	▲0.95

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したもの。



図Ⅱ-9：調査位置図（桜通(RT03)）

表II-23：緑視率過年度調査比較票（桜通(RT03), 抜粋）

ID	平成 27(2015)年 (撮影日：9/16, 19, 21)		令和 2(2020)年 (撮影日：8/5)		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
RT030801 (進行方向)		6.40%		10.45%	4.05 割
RT031003 (退行方向)		34.44%		26.80%	▲7.64 割
RT031203 (退行方向)		23.65%		14.89%	▲8.76 割
RT031501 (進行方向)		24.80%		13.19%	▲11.61 割
RT031503 (退行方向)		31.56%		23.89%	▲7.67 割

③ 名駅通・若宮大通 (RT04)

名駅通・若宮大通の令和2(2020)年の平均緑視率は22.66%であり、平成27(2015)年から2.04ポイント増加した。

特に増加したのは、RT040103で13.03ポイント増加した。これは、名古屋駅前の再開発による民有地の公開空地の緑化に起因した。次いで、RT042503が6.98ポイント増加しており、民間施設の植栽と街路樹がともに生長したものと考えられた。なお、民間施設の植栽が緑視率向上に貢献したものととして、RT040301、RT042401が考えられた。またその一方、民有地の樹木が伐採されたことにより緑視率が低下したRT040703のような事例もあった。

表Ⅱ-24：緑視率の変化（名駅通・若宮大通 (RT04)）

調査年	平成27(2015)年			令和2(2020)年			緑視率増減 (R2-H27) (%)
	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	緑視画素数	総画素数	
RT040101	632,376	5,947,392	10.63	596,572	4,915,200	12.13	1.50
RT040103	76,897	5,947,392	1.29	703,929	4,915,200	14.32	13.03
RT040201	279,219	5,947,392	4.69	215,412	4,915,200	4.38	▲0.31
RT040203	1,820,777	5,947,392	30.61	1,823,120	4,915,200	37.09	6.48
RT040301	926,254	5,947,392	15.57	928,881	4,915,200	18.89	3.32
RT040303	1,880,335	5,947,392	31.61	1,824,108	4,915,200	37.11	5.50
RT040401	558,402	5,947,392	9.38	587,918	4,915,200	11.96	2.58
RT040403	885,574	5,947,392	14.89	780,347	4,915,200	15.87	0.98
RT040501	734,763	5,947,392	12.35	641,482	4,915,200	13.05	0.70
RT040503	1,948,082	5,947,392	32.75	1,571,264	4,915,200	31.96	▲0.79
RT040601	2,293,088	5,947,392	38.55	2,046,806	4,915,200	41.64	3.09
RT040603	2,269,677	5,947,392	38.16	2,040,857	4,915,200	41.52	3.36
RT040701	2,626,103	5,947,392	44.15	2,089,633	4,915,200	42.51	▲1.64
RT040703	1,475,087	5,947,392	24.80	1,102,529	4,915,200	22.43	▲2.37
RT042001	648,468	5,947,392	10.90	696,090	4,915,200	14.16	3.26
RT042003	1,738,120	5,947,392	29.22	1,523,393	4,915,200	30.99	1.77
RT042101	2,257,895	5,947,392	37.96	1,886,814	4,915,200	38.38	0.42
RT042103	1,433,945	5,947,392	24.11	1,374,829	4,915,200	27.97	3.86
RT042201	1,822,072	5,947,392	30.63	1,480,394	4,915,200	30.11	▲0.52
RT042203	801,395	5,947,392	13.47	666,431	4,915,200	13.55	0.08
RT042301	1,006,594	5,947,392	16.92	945,970	4,915,200	19.24	2.32
RT042303	330,596	5,947,392	5.55	309,611	4,915,200	6.29	0.74
RT042401	1,351,333	5,947,392	22.72	1,263,630	4,915,200	25.70	2.98
RT042403	619,648	5,947,392	10.41	565,085	4,915,200	11.49	1.08
RT042501	915,138	5,947,392	15.38	729,550	4,915,200	14.84	▲0.54
RT042503	1,576,242	5,947,392	26.50	1,645,684	4,915,200	33.48	6.98
RT042601	746,322	5,947,392	12.54	487,231	4,915,200	9.91	▲2.63
RT042603	685,418	5,947,392	11.52	659,257	4,915,200	13.41	1.89
合計/ 平均緑視率	34,339,820	166,526,976	20.62	31,186,827	137,625,600	22.66	2.04

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したものを。

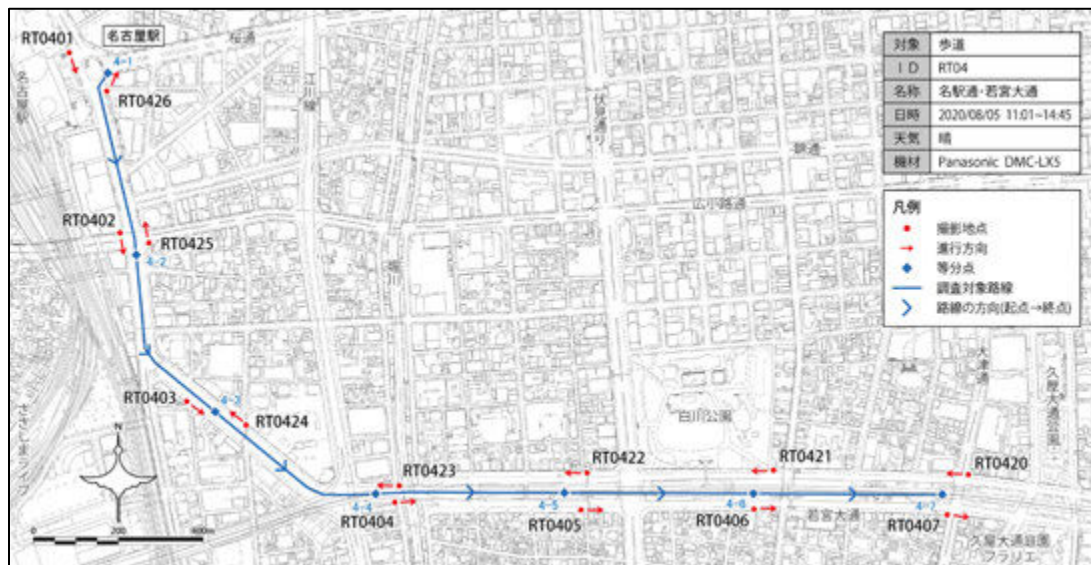

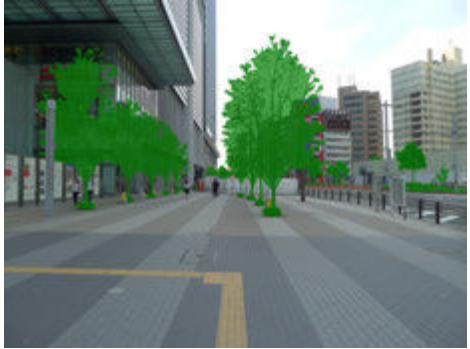


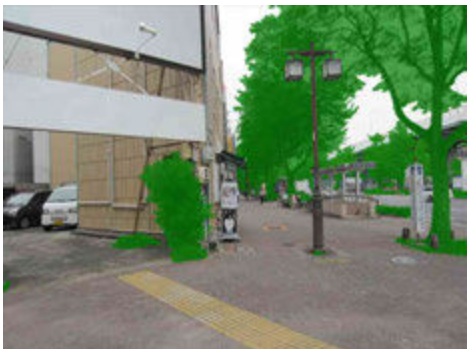







図10：調査位置図（名駅通・若宮大通 (RT04)）

表Ⅱ-25：緑視率過年度調査比較票（名駅通・若宮大通（RT04），抜粋）

ID	平成 27(2015)年（撮影日：9/16, 19, 21）		令和 2(2020)年（撮影日：8/5）		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
RT040103 (退行方向)		1.29%		14.32%	13.03 割
RT040301 (進行方向)		15.57%		18.89%	3.32 割
RT040703 (退行方向)		24.80%		22.43%	▲2.37 割
RT042401 (進行方向)		22.72%		25.70%	2.98 割
RT042503 (退行方向)		26.50%		33.48%	6.98 割

④ 久屋大通 (RT05)

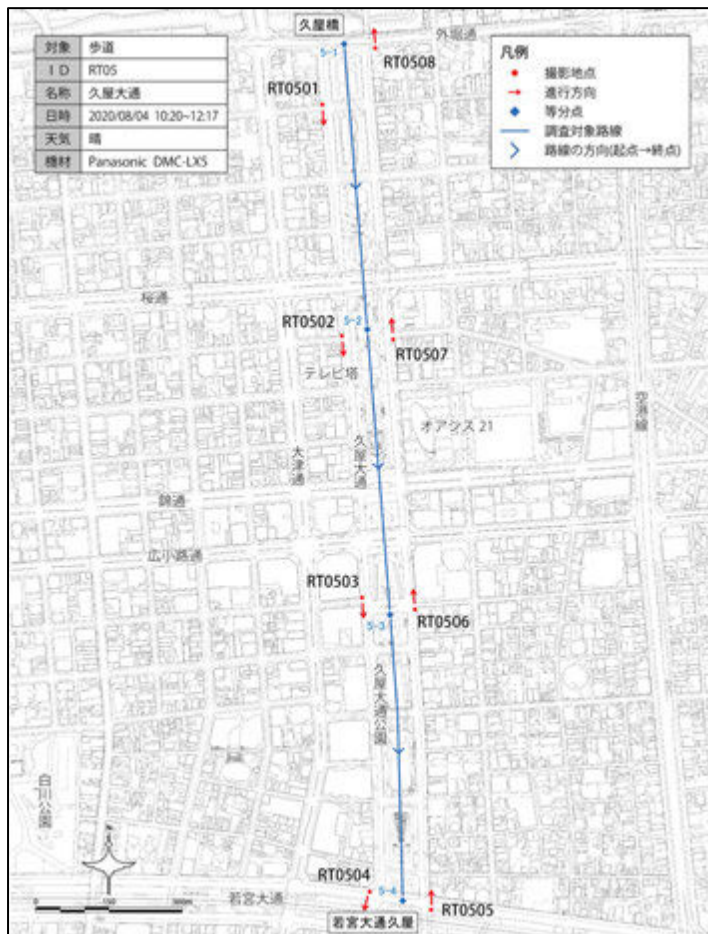
久屋大通の令和2(2020)年の平均緑視率は27.05%であり、平成27(2015)年から1.01ポイント減少した。最も緑視率が減少した箇所は、RT050203であり、9.32ポイント減少したが、これは植栽帯の整理や久屋大通公園のリニューアルに伴う樹木の除伐等により緑が減少したことに起因していたと考えられた。

また本歩道では、街路樹が良好な景観を形成している RT050303 のような事例や、民間施設の緑化と街路樹により良好な景観を形成している RT050603、RT050703 のような事例もあった。

表Ⅱ-26：緑視率の変化（久屋大通 (RT05)）

調査年	平成 27 (2015) 年			令和 2 (2020) 年			緑視率増減 (R2-H27) (%)
	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	緑視画素数	総画素数	
RT050101	2,062,033	5,947,392	34.67	1,384,560	4,915,200	28.16	▲6.51
RT050103	2,801,011	5,947,392	47.09	2,220,520	4,915,200	45.17	▲1.92
RT050201	1,628,260	5,947,392	27.37	1,383,948	4,915,200	28.15	0.78
RT050203	1,115,671	5,947,392	18.75	463,528	4,915,200	9.43	▲9.32
RT050301	1,796,135	5,947,392	30.20	1,190,073	4,915,200	24.21	▲5.99
RT050303	1,675,646	5,947,392	28.17	1,302,071	4,915,200	26.49	▲1.68
RT050401	1,056,020	5,947,392	17.75	928,121	4,915,200	18.88	1.13
RT050403	3,873,419	5,947,392	65.12	3,705,671	4,915,200	75.39	10.27
RT050501	535,295	5,947,392	9.00	464,241	4,915,200	9.44	0.44
RT050503	923,163	5,947,392	15.52	684,862	4,915,200	13.93	▲1.59
RT050601	963,390	5,947,392	16.19	845,280	4,915,200	17.19	1.00
RT050603	1,923,436	5,947,392	32.34	1,604,157	4,915,200	32.63	0.29
RT050701	1,134,132	5,947,392	19.06	804,805	4,915,200	16.37	▲2.69
RT050703	1,309,837	5,947,392	22.02	1,041,349	4,915,200	21.18	▲0.84
RT050801	1,795,670	5,947,392	30.19	1,576,275	4,915,200	32.06	1.87
RT050803	2,108,801	5,947,392	35.45	1,677,677	4,915,200	34.13	▲1.32
合計/ 平均緑視率	26,701,919	95,158,272	28.06	21,277,138	78,643,200	27.05	▲1.01

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したもの。



図Ⅱ-11：調査位置図（久屋大通 (RT05)）

表 II-27：緑視率過年度調査比較票（久屋大通(RT05)，抜粋）

ID	平成 27(2015)年（撮影日：9/16）		令和 2(2020)年（撮影日：8/4）		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
RT050203 (退行方向)		18.75%		9.43%	▲9.32 ㊦
RT050303 (退行方向)		28.17%		26.49%	▲1.68 ㊦
RT050603 (退行方向)		32.34%		32.63%	0.29 ㊦
RT050703 (退行方向)		22.02%		21.18%	▲0.84 ㊦

⑤ 大津通 (RT06)

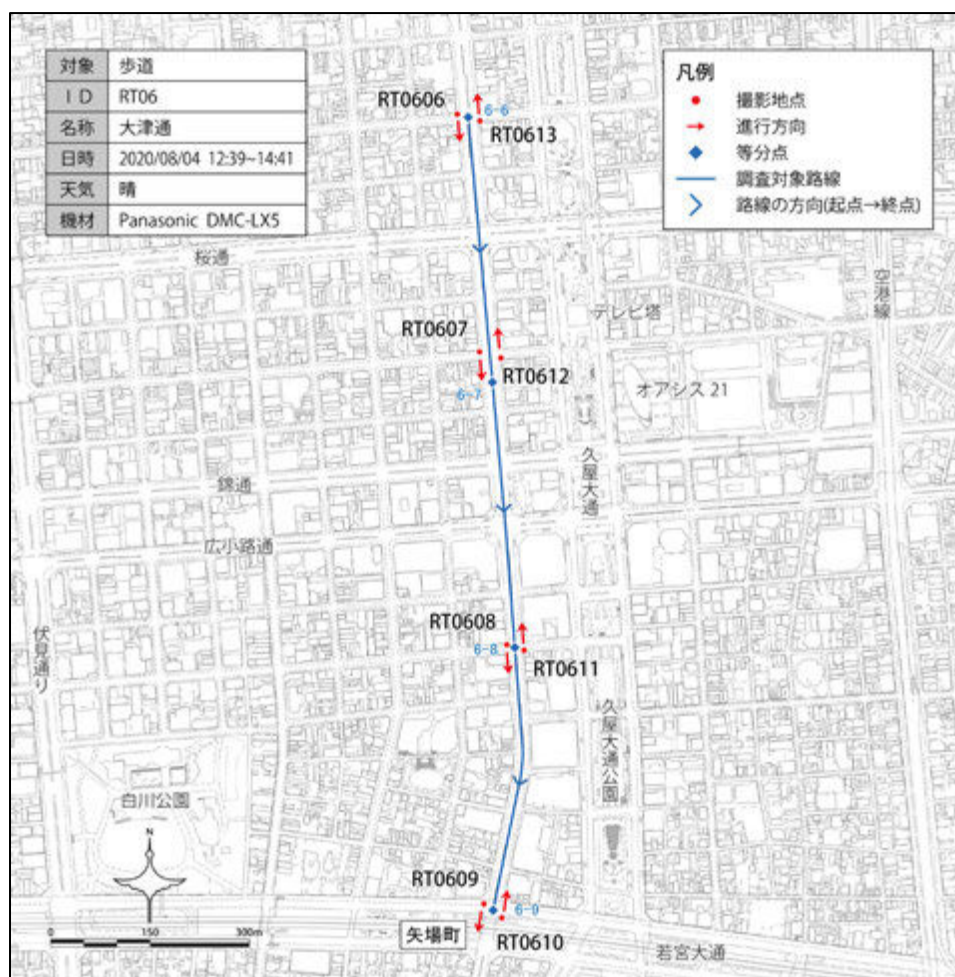
大津通の令和2(2020)年の平均緑視率は15.09%であり、平成27(2015)年から2.46ポイント増加した。

特に増加したのは、RT060903であり18.94ポイント増加した。これは、街路樹の新植や生長によるものと考えられた。また、本歩道では、街路樹が良好な景観を形成しているRT060803やRT061001のような事例もあった。

表Ⅱ-28：緑視率の変化（大津通 (RT06)）


調査年 ID	平成27(2015)年			令和2(2020)年			緑視率増減 (R2-H27) (%)
	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	
RT060601	849,006	5,947,392	14.27	626,511	4,915,200	12.74	▲1.53
RT060603	264,572	5,947,392	4.44	304,786	4,915,200	6.20	1.76
RT060701	102,058	5,947,392	1.71	75,024	4,915,200	1.52	▲0.19
RT060703	543,142	5,947,392	9.13	581,116	4,915,200	11.82	2.69
RT060801	626,525	5,947,392	10.53	637,256	4,915,200	12.96	2.43
RT060803	1,202,467	5,947,392	20.21	990,153	4,915,200	20.14	▲0.07
RT060901	806,272	5,947,392	13.55	839,761	4,915,200	17.08	3.53
RT060903	2,004,078	5,947,392	33.69	2,587,072	4,915,200	52.63	18.94
RT061001	1,539,690	5,947,392	25.88	1,477,155	4,915,200	30.05	4.17
RT061003	590,023	5,947,392	9.92	517,117	4,915,200	10.52	0.60
RT061101	614,369	5,947,392	10.33	417,916	4,915,200	8.50	▲1.83
RT061103	805,979	5,947,392	13.55	999,670	4,915,200	20.33	6.78
RT061201	754,295	5,947,392	12.68	566,683	4,915,200	11.52	▲1.16
RT061203	220,394	5,947,392	3.70	215,191	4,915,200	4.37	0.67
RT061301	586,223	5,947,392	9.85	559,948	4,915,200	11.39	1.54
RT061303	514,195	5,947,392	8.64	478,632	4,915,200	9.73	1.09
合計/ 平均緑視率	12,023,288	95,158,272	12.63	11,873,991	78,643,200	15.09	2.46

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したもの。



図Ⅱ-12：調査位置図（大津通 (RT06)）

表II-29：緑視率過年度調査比較票（大津通(RT06), 抜粋）

ID	平成 27(2015)年 (撮影日：9/16, 21)		令和 2(2020)年 (撮影日：8/4)		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
RT060803 (退行方向)		20.21%		20.14%	▲0.07 割
RT060903 (退行方向)		33.69%		52.63%	18.94 割
RT061001 (進行方向)		25.88%		30.05%	4.17 割

(2) 交差点 (IS)

交差点全体の令和2(2020)年の平均緑視率は26.06%であり、平成27(2015)年の29.32%から3.26ポイント減少した。

特に減少幅が大きかったのは、広小路伏見 (IS08) で37.96ポイント減少した。次いで、桜通久屋東・桜通久屋西 (IS05) が13.25ポイント、桜通大津 (IS03) が9.24ポイント、名古屋駅 (IS02) が5.79ポイント減少した。

これらの詳細を見ると、広小路伏見 (IS08) では、4地点全ての緑視率が30~50ポイント程度減少しており、これはIS080101やIS080201のように調査時点で交差点の環境整備工事が進行中であり、緑視率が減少したためと考えられた。また、桜通久屋東・桜通久屋西 (IS05) 及び桜通大津 (IS03) の緑視率の減少は、IS050401やIS030101のように平成27年時点での植栽帯の雑草が緑視率に大きく影響を及ぼしており、令和2年時点ではそれが除草されていたことに起因していた。なお、名古屋駅 (IS02) は、特にIS020101で緑視率が20.37ポイント減少していたが、これは植栽帯の整備により高木がなくなったことや低木の植栽が地被類の植栽に替わったことが影響したと考えられた。

一方、緑視率が最も増加したのは、若宮大通久屋 (IS14) で5.87ポイント増加、次いで、広小路久屋東・広小路久屋西 (IS10) が4.78ポイント、東新町 (IS11) が4.33ポイント増加した。

これらの詳細を見ると、若宮大通久屋 (IS14) ではIS140401のように植栽の生長により緑視率が向上したと考えられた。また、広小路久屋東・広小路久屋西 (IS10) や東新町 (IS11) では、これらのうち、特に広小路久屋東・広小路久屋西のIS100401で11.44ポイント増加、東新町のIS110201で9.51ポイント増加していたが、これらはいずれも雑草の繁茂により緑視率が高まったと考えられた。

なお、名古屋駅前には民間施設の整備が進められており、IS020301のように屋上緑化も見られたほか、栄の交差点のように環境整備により植栽帯にオブジェ等が整備され、IS090301のように、植栽の生長により緑視率が増加した事例もあった。

表Ⅱ-30：交差点 (IS) の緑視率の変化 (1/2)

調査年		平成27(2015)年			令和2(2020)年			緑視率増減 (R2-H2) (%)
施設名	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	
名古屋駅	IS020101	2,158,086	4,915,200	43.90	1,156,944	4,915,200	23.53	▲20.37
	IS020201	2,542,763	4,915,200	51.73	2,323,258	4,915,200	47.26	▲4.47
	IS020301	1,076,037	4,915,200	21.89	1,146,098	4,915,200	23.31	1.42
	IS020401	272,775	4,915,200	5.54	285,892	4,915,200	5.81	0.27
	小計	6,049,661	19,660,800	30.77	4,912,192	19,660,800	24.98	▲5.79
桜通大津	IS030101	3,328,069	4,915,200	67.70	2,404,602	4,915,200	48.92	▲18.78
	IS030201	2,907,025	4,915,200	59.14	2,836,550	4,915,200	57.70	▲1.44
	IS030301	3,840,701	4,915,200	78.13	3,515,162	4,915,200	71.51	▲6.62
	IS030401	3,103,267	4,915,200	63.13	2,607,195	4,915,200	53.04	▲10.09
	小計	13,179,062	19,660,800	67.03	11,363,509	19,660,800	57.79	▲9.24
久屋橋・ 久屋橋西	IS040101	1,012,264	4,915,200	20.59	947,191	4,915,200	19.27	▲1.32
	IS040201	1,235,042	4,915,200	25.12	1,283,953	4,915,200	26.12	1.00
	IS040301	1,087,374	4,915,200	22.12	1,278,901	4,915,200	26.01	3.89
	IS040401	1,156,804	4,915,200	23.53	1,178,984	4,915,200	23.98	0.45
	小計	4,491,484	19,660,800	22.84	4,689,029	19,660,800	23.84	1.00

※1) IS050201については、「(仮称)東桜1-1再開発計画」に係る工事の仮囲いにより同一場所での撮影ができなかったため、除外としている。

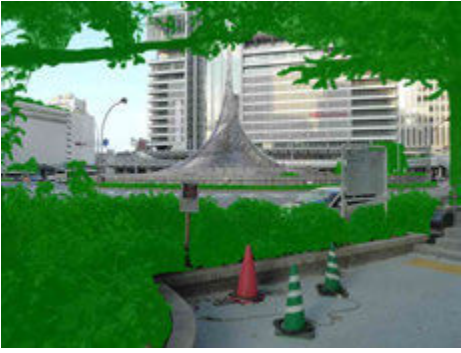
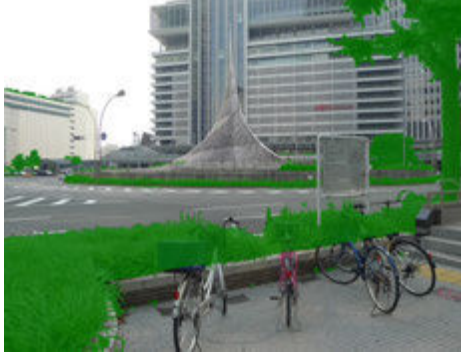








注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したものの。

表Ⅱ-30：交差点 (IS) の緑視率の変化 (2/2)




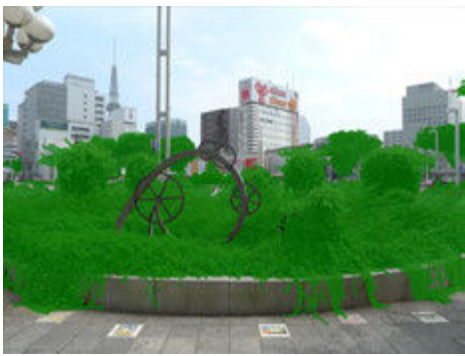

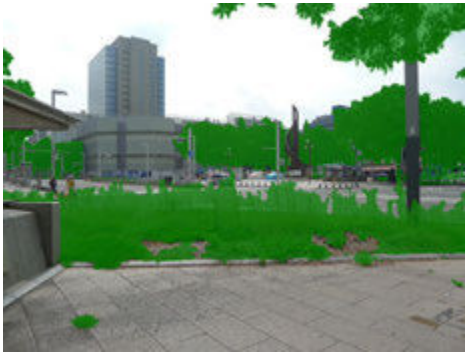




調査年		平成 27 (2015) 年			令和 2 (2020) 年			緑視率増減 (R2-H2) (点)
施設名	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	緑視画素数	総画素数	緑視率 (%)	
桜通久屋東・ 桜通久屋西	IS050101	1,365,161	4,915,200	27.77	404,321	4,915,200	8.22	▲19.55
	IS050201 ^{*1}	(除外)			(除外)			
	IS050301	865,921	4,915,200	17.61	780,683	4,915,200	15.88	▲1.73
	IS050401	1,393,927	4,915,200	28.35	486,709	4,915,200	9.90	▲18.45
	小計	3,625,009	14,745,600	24.58	1,671,713	14,745,600	11.33	▲13.25
笹島	IS060101	1,416,615	4,915,200	28.82	1,688,047	4,915,200	34.34	5.52
	IS060201	2,094,520	4,915,200	42.61	2,121,678	4,915,200	43.16	0.55
	IS060301	216,822	4,915,200	4.41	198,162	4,915,200	4.03	▲0.38
	IS060401	253,664	4,915,200	5.16	247,135	4,915,200	5.02	▲0.14
	小計	3,981,621	19,660,800	20.25	4,255,022	19,660,800	21.64	1.39
納屋橋東・ 納屋橋西	IS070101	118,491	4,915,200	2.41	156,095	4,915,200	3.17	0.76
	IS070201	314,024	4,915,200	6.38	298,256	4,915,200	6.06	▲0.32
	IS070301	838,010	4,915,200	17.04	712,708	4,915,200	14.50	▲2.54
	IS070401	241,217	4,915,200	4.90	305,507	4,915,200	6.21	1.31
	小計	1,511,742	19,660,800	7.68	1,472,566	19,660,800	7.48	▲0.20
広小路伏見	IS080101	2,627,506	4,915,200	53.45	164,323	4,915,200	3.34	▲50.11
	IS080201	2,015,963	4,915,200	41.01	560,807	4,915,200	11.40	▲29.61
	IS080301	1,763,623	4,915,200	35.88	176,494	4,915,200	3.59	▲32.29
	IS080401	2,160,369	4,915,200	43.95	202,345	4,915,200	4.11	▲39.84
	小計	8,567,461	19,660,800	43.57	1,103,969	19,660,800	5.61	▲37.96
栄	IS090101	1,129,634	4,915,200	22.98	1,499,674	4,915,200	30.51	7.53
	IS090201	842,052	4,915,200	17.13	1,241,188	4,915,200	25.25	8.12
	IS090301	1,432,192	4,915,200	29.13	1,834,440	4,915,200	37.32	8.19
	IS090401	981,030	4,915,200	19.95	350,661	4,915,200	7.13	▲12.82
	小計	4,384,908	19,660,800	22.30	4,925,963	19,660,800	25.05	2.75
広小路久屋東・ 広小路久屋西	IS100101	962,172	4,915,200	19.57	1,093,731	4,915,200	22.25	2.68
	IS100201	1,169,435	4,915,200	23.79	1,044,122	4,915,200	21.24	▲2.55
	IS100301	1,971,538	4,915,200	40.11	2,342,187	4,915,200	47.65	7.54
	IS100401	996,012	4,915,200	20.26	1,558,248	4,915,200	31.70	11.44
	小計	5,099,157	19,660,800	25.93	6,038,288	19,660,800	30.71	4.78
東新町	IS110101	2,451,479	4,915,200	49.87	2,855,467	4,915,200	58.09	8.22
	IS110201	2,244,691	4,915,200	45.66	2,712,024	4,915,200	55.17	9.51
	IS110301	2,654,646	4,915,200	54.00	2,483,164	4,915,200	50.52	▲3.48
	IS110401	2,349,242	4,915,200	47.79	2,499,997	4,915,200	50.86	3.07
	小計	9,700,058	19,660,800	49.33	10,550,652	19,660,800	53.66	4.33
下広井町	IS120101	595,966	4,915,200	12.12	559,463	4,915,200	11.38	▲0.74
	IS120201	415,366	4,915,200	8.45	363,625	4,915,200	7.39	▲1.06
	IS120301	571,170	4,915,200	11.62	526,114	4,915,200	10.70	▲0.92
	IS120401	475,158	4,915,200	9.66	418,666	4,915,200	8.51	▲1.15
	小計	2,057,660	19,660,800	10.46	1,867,868	19,660,800	9.50	▲0.96
矢場町	IS130101	610,078	4,915,200	12.41	671,228	4,915,200	13.65	1.24
	IS130201	1,280,521	4,915,200	26.05	1,436,313	4,915,200	29.22	3.17
	IS130301	889,302	4,915,200	18.09	959,521	4,915,200	19.52	1.43
	IS130401	720,749	4,915,200	14.66	911,982	4,915,200	18.55	3.89
	小計	3,500,650	19,660,800	17.80	3,979,044	19,660,800	20.23	2.43
若宮大通久屋	IS140101	2,724,759	4,915,200	55.43	2,929,499	4,915,200	59.60	4.17
	IS140201	841,596	4,915,200	17.12	878,849	4,915,200	17.88	0.76
	IS140301	801,729	4,915,200	16.31	990,631	4,915,200	20.15	3.84
	IS140401	2,985,431	4,915,200	60.73	3,709,800	4,915,200	75.47	14.74
	小計	7,353,515	19,660,800	37.40	8,508,779	19,660,800	43.27	5.87
合計	73,501,988	250,675,200	29.32	65,338,594	250,675,200	26.06	▲3.26	

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したものの。

表Ⅱ-31：緑視率過年度調査比較票（交差点, 抜粋）(1/2)

ID	平成 27 (2015) 年		令和 2 (2020) 年		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
名古屋駅 (IS020101)		43.90%		23.53%	▲20.37 割
名古屋駅 (IS020301)		21.89%		23.31%	1.42 割
桜通大津 (IS030101)		67.70%		48.92%	▲18.78 割
桜通久屋東・桜通久屋西 (IS050401)		28.35%		9.90%	▲18.45 割
広小路伏見 (IS080101)		53.45%		3.34%	▲50.11 割

表II-31：緑視率過年度調査比較票（交差点、抜粋）（2/2）

ID	平成 27 (2015) 年		令和 2 (2020) 年		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
広小路伏見 (IS080201)		41.01%		11.40%	▲29.61 ㊦
米 (IS090301)		29.13%		37.32%	8.19 ㊦
広小路久屋東・広小路久屋西 (IS100401)		20.26%		31.70%	11.44 ㊦
東新町 (IS110201)		45.66%		55.17%	9.51 ㊦
若宮大通久屋 (IS140401)		60.73%		75.47%	14.74 ㊦

(3) ターミナル駅(TS)

ターミナル駅全体の令和 2(2020)年の平均緑視率は 24.50%であり、平成 27(2015)年の 24.67%から 0.17 ポイント減少したが、全体的にはほとんど変化はなかったと考えられる。以下に、各駅の状況を考察した。

JR 名古屋駅(桜通口)の平均緑視率は 4.61%であり、平成 27 年から 0.07 ポイント減少したがほとんど変化はなかったと考えられる。これは、本地点が広いコンコースとなっており、TS010102 のように緑視対象は遠景の植栽といった状況であったことから、緑視率としてはほとんど変化しなかったものと考えられる。

地下鉄栄駅(16 番出入口)の平均緑視率は 25.79%であり、平成 27(2015)年から 1.74 ポイント増加した。本地点も緑視率としてはあまり変化がないが、TS020101 のように久屋大通公園の暫定再整備に伴い、栄バスターミナルが商業施設・イベント広場が変わっていた。なお、当該地点は、建物が建造されたが、久屋大通公園の高木の生長により、緑視率は 5.53 ポイント増加していた。

金山総合駅(南口)の平均緑視率は 5.42%であり、平成 27 年から 1.13 ポイント増加した。本地点の緑視対象も JR 名古屋駅と同様、TS030101 のように遠景の植栽といった状況であったことから、緑視率としてはほとんど変化しなかったものと考えられる。

JR 千種駅の平均緑視率は 64.63%であり、平成 27 年から 3.07 ポイント増加した。本地点は、JR 名古屋駅や金山総合駅と違い、TS040101 のように駅出口の目の前に生垣が植栽され、緑視率はターミナル駅の中で最も高い状況であった。なお、本地点も緑視率の変化は相対的に微々たるものであった。











JR 鶴舞駅(公園口(北西側))の平均緑視率は 22.05%であり、平成 27 年から 6.72 ポイント減少した。本箇所は、ターミナル駅の中で最も緑視率の減少が見られた箇所であった。なお、この減少は、TS050102 を見ると駅の出口の目の前に植栽されたサクラの樹勢が弱まっていることに起因していると考えられた。

表Ⅱ-32：ターミナル駅(TS)の緑視率の変化

調査年		平成 27(2015)年			令和 2(2020)年			緑視率増減 (R2-H2) (ポイント)
施設名	ID	緑視画素数	総画素数	緑視率(%)	緑視画素数	総画素数	緑視率(%)	
JR 名古屋駅 (桜通口)	TS010101	205,740	4,915,200	4.18	179,175	4,915,200	3.64	▲0.54
	TS010102	306,327	4,915,200	6.23	304,561	4,915,200	6.19	▲0.04
	TS010103	179,475	4,915,200	3.65	197,467	4,915,200	4.01	0.36
	小計	691,542	14,745,600	4.68	681,203	14,745,600	4.61	▲0.07
地下鉄栄駅 (16 番出入口)	TS020101	2,058,980	4,915,200	41.89	2,331,050	4,915,200	47.42	5.53
	TS020102	1,405,396	4,915,200	28.59	1,396,716	4,915,200	28.41	▲0.18
	TS020103	82,115	4,915,200	1.67	76,004	4,915,200	1.54	▲0.13
	小計	3,546,491	14,745,600	24.05	3,803,770	14,745,600	25.79	1.74
金山総合駅 (南口)	TS030101	31,607	4,915,200	0.64	44,099	4,915,200	0.89	0.25
	TS030102	267,639	4,915,200	5.44	340,174	4,915,200	6.92	1.48
	TS030103	333,603	4,915,200	6.78	415,590	4,915,200	8.45	1.67
	小計	632,849	14,745,600	4.29	799,863	14,745,600	5.42	1.13
JR 千種駅	TS040101	2,420,029	4,915,200	49.23	2,573,623	4,915,200	52.36	3.13
	TS040102	3,589,577	4,915,200	73.03	3,728,436	4,915,200	75.85	2.82
	TS040103	3,068,271	4,915,200	62.42	3,228,453	4,915,200	65.68	3.26
	小計	9,077,877	14,745,600	61.56	9,530,512	14,745,600	64.63	3.07
JR 鶴舞駅 (公園口(北西側))	TS050101	1,418,597	4,915,200	28.86	1,150,453	4,915,200	23.40	▲5.46
	TS050102	1,662,011	4,915,200	33.81	1,220,570	4,915,200	24.83	▲8.98
	TS050103	1,162,489	4,915,200	23.65	881,027	4,915,200	17.92	▲5.73
	小計	4,243,097	14,745,600	28.77	3,252,050	14,745,600	22.05	▲6.72
合計		18,191,856	73,728,000	24.67	18,067,398	73,728,000	24.50	▲0.17

注1) 黄色セルは、過年度調査比較票として緑視画像を抜粋して示したものの。

表II-33：緑視率過年度調査比較票（ターミナル駅、抜粋）

ID	平成 27 (2015) 年		令和 2 (2020) 年		緑視率増減 (R2-H27)
	緑視画像	緑視率	緑視画像	緑視率	
JR 名古屋駅 (TS010102)		6.23%		6.19%	▲0.04 割
地下鉄栄駅 (TS020101)		41.89%		47.42%	5.53 割
金山総合駅 (TS030102)		5.44%		6.92%	1.48 割
JR 千種駅 (TS040101)		49.23%		52.36%	3.13 割
JR 鶴舞駅 (TS050102)		33.81%		24.83%	▲8.98 割

3-3. まとめ

平成 27(2015)年及び令和 2(2020)年の本調査の結果を踏まえ、緑視率の変化の状況について以下のとおり考察した。

■ 本調査等の結果を踏まえた緑の状況

- ・ 都心部の緑視率は5年間で大きな変化はなかった(平均21%程度)ことから、歩行者の目に映る緑はおおむね維持されていると考えられた。
- ・ まちなかの緑の中でも、特に街路樹による緑視率への貢献が大きかった。
- ・ 平成27年度に行ったアンケート調査では、緑視率が14%を超えると緑が多いと感じる人の割合が高くなるという結果であった。今回・前回ともにそれを上回る地点が多く、良好な環境を維持していると考えられた。

■ 調査を通じた民有地の緑の状況

- ・ 緑視率が高い箇所においては、民有地の緑も効果的に緑視率に貢献していた。
- ・ また、民有地の緑は単体でのみならず、周辺の街路樹と一体となって緑視率の向上に貢献していた。
- ・ 5年間の変化で、民有地の緑が創出されたことで、緑視率が向上した箇所が確認された。

■ 調査を通じた公共の緑の状況

- ・ 緑視率が減少した箇所において、公共の緑の変化が確認された。
- ・ 街路樹の剪定や公園の再整備等による緑のボリューム変化が、緑視率に大きく影響していた。
- ・ またその一方、街路樹や植栽の生長により、緑視率の向上に貢献した事例も多数見られた。

■ 緑視率調査の課題

- ・ 緑視率の多寡は、植栽されている植物のボリュームやその管理状態、また、調査の実施時期等にも左右されるとともに、たとえ雑草が繁茂していても、緑視率としては向上する可能性が示唆された。
- ・ 緑化の推進を図り、適正な植栽管理を行うことで緑視率の向上に努めることは重要であるが、その緑化の質について、定量的に評価する方法も検討する必要があると考えられた。